

次号予告

特集 手の外科

手・指再接着術後早期からの作業療法

.....金沢大学医療技術短大部 生田 宗博・他

手の機能再建術—腱移行術について.....神戸労災病院 藤原 朗・他

手の外科の理学療法.....広島大学整形外科 畑野 栄治・他

手の外科における Hand Therapy

.....Imperial Point Medical Center 矢 崎 潔

hand splint (術後用と機能補助用).....新潟大学整形外科 田 島 達 也

印象記/米国 hand therapy の現状

(訪問記と日本における展望).....都立広尾病院 椎 名 喜美子

とびら 援助するという.....那覇市立病院 神 村 朝 勲

講座 老人 6. 老人の社会参加.....共同通信 皆 川 鞆 一

障害児と母子関係 1. 母子関係の現状と展望

.....東大小児科 石 川 憲 彦

プロGRESS バイオフィードバックのとり入れとその実情

.....慶応大学病院 藤 沢 しげ子

リハビリテーション・インフォメーション

RSW 研究会の紹介.....東京都養育院 奥 川 幸 子

PSW 協会の紹介.....成増厚生病院 寺 谷 隆 子

あんてな 国際障害者年長期行動計画.....心身障害児療育センター 小 池 文 英

資料 第17回理学療法士・作業療法士国家試験—模範解答(Ⅱ)(1982年度)

編集後記

去る人を見送り、来る人を迎える4月が過ぎ、5月の連休も終わると、あつという間に夏が近寄ってきます。毎年繰り返される別れと出会いが、人生の歴史に微妙な色どりを与えていくさまは実に見事です。

長期在院の分裂病者が担当者との別れに示す反応も千差万別です。どうしてやめるのか、どこへ行くのか、いつやめるのかと質問せめて退職していく OT を立ち往生させる緘黙で知られたAさん。声もたてずに涙ぐむ離院のベテランのBさん。閉鎖病棟への転棟を希望してきた外勤者のCさん。別れの瞬間に見せる生き生きした反応は、驚くほど健康で個性的です。こんな時、去っていく者は始めて自分の存在がどういう意味をもっていたかを瞬間にかい間見ることができるのです。そして今までAさん、Bさん、Cさんの一体何を自分は理解していたのだろうか、と、深刻に考えこんでしまいます。もはや、時間切れになったその瞬間に、分裂病者の本質に近づける

というも、現実のもつ皮肉な側面なのかも知れません。

精神科作業療法で行う評価は、特に分裂病者を対象にした場合こういった現実の中で、いつもある種の歯がゆさ、もどかしさを作業療法士自身がもちながら、行われています。どのような方法を使うにしても、対象者の人格を抜きにした評価はできないし、そのためには評価者の磨ぎすまされた直観や感受性が不可欠な武器になってきます。

今回とりあげた日常生活評価、感覚統合評価、前職業的評価、NPI 興味チェックリスト、投影的活動を利用した人格診断の5つの方法は、いずれも異なる人格論、分裂病論を前提にしたものです。経験や直観だけでは見落してしまいやすい面へのアプローチ、経験や直観を裏づける、客観的資料を得るため、など、利用の仕方はいろいろです。まずは臨床で試みていただきたいと思います。

(福岡詔子)

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五味 重 春
埼玉県障害者リハビリセ
ンター所長

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一
東京大学教授・整形外科

水 野 祥太郎
川崎リハビリ学院長
(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
リハビリテーションペ
イン(痛み)クリニッ
クわらび診療所

大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子
都心身障害者センター

富 岡 詔 子
加納総合病院

奈 良 勲
金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

安 達 克 己

池 田 俊 雄

伊 東 元 夫

宇都宮 初 幸

大 丸 幸 翼

金 子 矩 子

鎌 倉 克 昌

紀 伊 信 子

木 村 治 夫

駒 沢 智 明

佐 藤 明 子

嶋 田 昌 家

鈴 木 正 明

関 橋 久 隆

高 屋 令 子

中 橋 隆 昭

橋 元 子

藤 沢 しげ子

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

(担当 細田・西塚)